

がん患者のサバイバーシップを多職種で考えよう ～その人らしく生きることを支えるために～



がん医療の発展に伴い、がん罹患後の予後は飛躍的に改善しています。がんと診断されてから治療中や治療後の人生をがんと共にその人らしく生きるために「がんサバイバーシップ」を高める関わりが求められてきています。今年度は、がん医療の在り方を「がんサバイバーシップ」の視点から皆様と一緒に考えたいと思います。

日時 11月17日(土) 13:00～16:00 (開場12:30)

場所 神戸大学医学部附属病院 シスメックスホール
[神戸市中央区楠町7丁目5-2]

対象者 医療従事者、医療機関の職員

先着300名
参加費
無料

第1部 13:05 ～ 14:05

【特別講演】

「<よく生きる>を考えよう」

講師：桜井 なおみ 先生

(キャンサーソリューションズ)

東京生まれ。大学で都市計画を学んだ後、卒業後はコンサルティング会社にてまちづくりや環境学習などの仕事に従事。2004年、がん罹患後は、働き盛りで罹患した自らのがん経験や社会経験を活かし、患者・家族の支援活動を開始、現在に至る。NPO法人HOPEプロジェクト理事長、一般社団法人CSRプロジェクト代表理事、キャンサーソリューションズ(株)代表取締役社長として活動。社会福祉士、精神保健福祉士、技術士(建設部門)、産業カウンセラー。



第2部 14:15 ～ 15:00

実践報告：「がん患者へのアピアランスケア」

神戸大学医学部附属病院 腫瘍センター/通院治療室 看護師 土井久容

実践報告：「がん患者・経験者の就労支援」

神戸大学医学部附属病院 腫瘍センター/緩和ケアチーム・がん相談室
臨床心理士 酒見 惇子先生

実践報告：「妊孕性温存治療(男女別)」

神戸大学医学部附属病院 腫瘍・血液内科 医師 今村 善宣先生

第3部 15:15～15:45

ディスカッション

※申込み方法は裏面をご覧ください



がん患者のサバイバーシップを多職種で考えよう ～その人らしく生きることを支えるために～

神戸大学医学部附属病院

シスメックスホールまでのアクセス



<電車利用>

JR「神戸」駅下車 徒歩約15分
神戸高速鉄道「高速神戸」駅下車
徒歩約15分
神戸市営地下鉄「大倉山」駅下車
徒歩約5分

<バス利用>

JR神戸駅より神戸市バス9系統、
110系統もしくは112系統に乗車
約5分「大学病院前」バス下車

プログラム

◆ 開会挨拶

神戸大学医学部附属病院 副病院長兼看護部長 松浦 正子

《第Ⅰ部 13:05～14:05》

座長 神戸大学医学部附属病院 副看護部長 藤原由佳

◆ 特別講演

がんサバイバーシップ

講師:桜井 なおみ先生

(がんサバイバーシップ)

《第Ⅱ部 14:15～15:00》

座長 神戸大学医学部附属病院

緩和支援治療科 松沼 亮先生

腫瘍センター/緩和ケアチーム 岸野 恵

◆ 実践報告1「がん治療へのアピランスケア」

神戸大学医学部附属病院

腫瘍センター/通院治療室 看護師 土井 久容

◆ 実践報告2「がん患者・経験者の就労支援」

神戸大学医学部附属病院 腫瘍センター

緩和ケアチーム・がん相談室 臨床心理士 酒見 惇子先生

◆ 実践報告3「妊孕性温存治療(男女別)」

神戸大学医学部附属病院 腫瘍・血液内科 医師 今村 善宣 先生

《第Ⅲ部 15:15～15:45》

◆ ディスカッション

◆ 閉会挨拶

神戸大学医学部附属病院 副看護部長 藤原 由佳

対象者

医療従事者、医療機関の職員

申込方法

氏名・所属・職種・連絡先・メールアドレスをご記入いただき、
件名を「がんサバイバーシップ参加希望」と明記の上、Eメールに
てお申し込み下さい。

E-mail : cancerhp-apply@med.kobe-u.ac.jp

申込期限

平成30年11月12日(月)まで

※申込期限に限らず、満席になるまで受付いたします。

お問合せ先

神戸大学医学部附属病院 がん相談室 担当：上野

TEL : 078-382-5830 (直通)

※別室にて託児サービスを実施します。詳細は申込み時にお問い合わせください。

対象年齢：1歳から小学校6年生 先着5名まで